

2025年 2月1日(土) MEITO SR.HIGH SCHOOL'S 40th

ANNUAL ENGLISH SPEECH CONTEST(第40回名東高校スピーチコンテスト)

この行事は、日常の授業で身に着けた英語運用能力を活かし、学習成果をスピーチという形で発表する本校独自の行事であり、①レシテーション(3分以内の自由選択による英文の暗唱) ②スピーチ(SDGs に関する自作の5分以内の原稿のスピーチ) ③グループレシテーション(国際英語科1年・2年によるグループでの英語暗唱) の3部で構成されています。どの部門に出場した生徒も全力で取り組むことができ、本年度も非常にレベルの高いコンテストとなりました。

本年度校内予選を勝ち抜いて本選へ出場し、見事本選入賞を果たした皆さんのコメントと、モデルスピーチの様子をご紹介します。

レシテーションの部

優勝

Stay Hungry, Stay Foolish

Kato Kaoruko

1L

初めてのスピーチコンテスト、実力者ばかりの中での今回の結果は、本当に驚きと嬉しさでいっぱいです。何より本番に向けてアドバイスをくださった先生方、練習に付き合ってくれたクラスメイト、そしてコンテストという機会に参加できる環境にとっても感謝しています。今回私はスティーブ・ジョブズさんのスピーチの題材を選びました。初めは、中学の時に英語の授業で取り扱ったから、という軽い理由でした。しかし、練習を重ね、担当の先生方と彼がこのスピーチで伝えたいこと、大事にして欲しいことを深読みしていくうちに、この文章は私にとってとても大切なものになり、大好きになっていきました。特に英語に自分の感情をのせて伝える事に苦戦しました。この経験で自分の課題がたくさん見つかりましたが、今回のコンテストで英語への関心がさらに高まりました。今後も意欲的に色々なことに挑戦していきたいと思います。中学生で進学先を考える際、英語が好きというだけで国際英語科を選択していいのか悩みましたが、英語に対する想いが同じ素晴らしい仲間たちに恵まれて本当に幸せです。ありがとうございました！



準優勝

Is There a Santa Claus? Fujimori Ameri 1L

初めてのレシテーションで 2 位という素晴らしい結果をいただき、本当に嬉しく思います。約 5 ヶ月間の練習の成果を本番でしっかり発揮できたことに、大きな達成感を感じています。このレシテーションの題材を深く理解し、自分の言葉として表現することは決して簡単ではありませんでした。しかし、金丸先生をはじめ、支えてくださった先生方、そして同じ目標に向かって励まし合った仲間のおかげで、乗り越えることができました。また、応援してくれた家族や友人、先生方に心から感謝しています。この経験を糧に、来年もさらに成長できるよう頑張ります！



3位

The Soldier by the Lake Johnston Hana 1L

今回初めてのスピーチコンテストで 3 位に入賞できてとても光栄です。先生や友達との練習の成果を発揮できたと同時に、本番で初めて味わった緊張を乗り越えたことによって、さらに成長することができました。スピーチの練習では、レコーディングで発音や間の取り方、ビデオを使って表情の練習をし、友達と指摘し合いながら、より良い発表ができるよう努力しました。協力してくださった先生方や一緒に練習してくれた友達に心より感謝します。この経験を生かしてこれからもさらなる挑戦をしていきます。



スピーチの部

優勝

Girls in Afghanistan

Yamada Aila

2C

初めてのスピーチコンテストで 1 位を受賞することができ、とても嬉しく思います。もともと人前で話すことが得意ではなかったため、スピーチに挑戦する中で困難を感じる場面もありました。しかし、家族や先生方の温かいサポートのおかげで、自分の想像を超える結果を出すことができました。本当に心から感謝しています。また、スピーチで取り上げた社会問題は、これから社会に出た際に直面する課題でもあります。このようなスピーチコンテストを通じて問題に向き合い、深く考えることの重要性を改めて実感しました。今後も意識を持ち続け、行動に移していきたいと思ひます。



準優勝

Rethinking Gender Stereotypes in Society

Takekawa Haruto 1L

今回初めてのスピーチコンテストのスピーチ部門で 2 位に選んでいただけて光栄です。私は、今回の事を通して自分がいかに周りの人たちに恵まれているか改めて実感しました。自分一人では気づくことのできない所作や表現方法をアドバイスして下さる先生、発音や間の使い方をアドバイスして下さる先生に支えられて、そしてリハーサルの段階で同学年の子や先輩方の堂々としたスピーチをする姿に刺激を受けて、私のスピーチは作られていきました。私の周りの人によって、2 位という結果をいただけたと思っています。そんな方達に心から感謝すると共に、来年以降のスピーチなどで活躍できるようになるため日々努力し続けたいと思ひます。



3位

Paying It Forward

Hasegawa Kaede 2L

今回のスピーチコンテストで3位を取れてとても嬉しく思います。去年はレシーションの部門で出場しましたが、惜しくも入賞できずとても悔しい思いをしたのを覚えています。その悔しさを胸に今回はこれまで以上に練習しました。原稿の内容を覚えるために自転車での登下校中やお風呂で浴槽に浸かっている時に内容を口に出して言ったりなどあらゆる時間をこのスピーチコンテストに捧げました。ただ、今回のこの結果は古澤先生やPaul先生のサポートは無しでは成し遂げられていません。原稿作りやパフォーマンスの仕方などいろいろな面で助けていただきました。本当に感謝しています。なにより、祖父との「入賞したら焼肉に連れてってやる」という約束を果たせてとても嬉しいです。



ユネスコ協会会長賞

Parent Gacha: The Importance of Belonging

Miwa Ryosuke 2L

この度、スピーチコンテストでユネスコ賞を受賞させていただき、大変うれしく思っています。本番まで、たくさんの時間と努力が必要でした。どうすれば聴衆に届くかを考え、何度も練習を繰り返しました。姿勢や身振りなど途中でうまくいかないこともありましたが、横山先生やPaul先生のご指導があったからこそ、ここまで成長できました。また、リハーサルでは緊張していたのですが、本番になると一生懸命聞いてくれる生徒がたくさんいて、たくさんの自信をいただきました。心から感謝を伝えたいです。今後もこの素晴らしい経験を活かし、精進していきたいです。



SPEECH by Exchange Students



Omotayo Martins (デンマーク)



Francesco Ceccon (イタリア)



Louane Casaccio (フランス)

グループプレゼンテーション部門

1位 2L-A Momotaro





本選出場生徒(レシテーション・スピーチ)と校長先生、教頭先生、ジャッジの方との記念撮影

当日は多くの方にご来場いただき、誠にありがとうございました。
当日のアンケート結果をもとに、次年度以降もより良いコンテスト
になるよう、生徒教職員共に考えてまいります。